

平成24年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

故郷とはどのようなものであるかについて、以下の資料をふまえた上で、1000字以上、1200字以内で、あなたの考えを論じなさい。

資料

非公開

非公開

(成田龍一・藤井淑禎・安井真奈美・内田隆三・岩田重則, 『故郷の喪失と再生』, 青弓社, 2000年, 12～13ページ, 抜粋・一部改変)

平成24年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

出題の意図

「故郷とはどのようなものであるか」という問いは、単に個人の出生地の問題のみではなく、「自分とは何者か」「我々とは何者か」といった、個人や集団ひいては人間そのものの存在に対する問いとしてもとらえることができよう。

戦争や開発や自然災害、あるいはグローバル化などによる国内外での人の動きといった今日的状況の中で、個人や集団の拠りどころとしての故郷や、個人として生きていく上でのアンビバレントな存在としての故郷など、故郷をめぐる多様な考えが存在する。しかし、この多様な考えは同時に、現代社会の抱える諸問題への多面的・複眼的な切り口を提示するものでもある。

本問題は、人間科学科のアドミッションポリシーに基づき、「故郷とはどのようなものであるか」について、複眼的思考力や論理的考察力をみようとすることである。